

学校の部活動に係る活動方針

いわき市立藤間中学校

1 目 的

- (1) 部活動を通し、自主的・自立的な生活態度を身に付け、進んでルールを守る精神を養う。
- (2) 生徒一人一人の心身の鍛練と良き社会人となるための資質・能力を養う。
- (3) 礼儀作法・責任感・愛校心などを育て、生徒一人一人の体力・技能の向上を図る。
- (4) 健全な趣味・豊かな教養を育て、生徒一人一人の持つ能力の発見・助長に努める。

2 方 針

- (1) 生徒全員がいずれかの部活動に入部し活動することを原則とする。ただし運動部を基本とするが、特別な事情や身体的理由により入部できない生徒については担任・保護者と相談の上配慮する。
- (2) 全職員でその指導に当たり、生徒の個性を理解しながら心身の向上を図る。
- (3) 活動は顧問教師の計画と生徒の自発性を尊重し、効率的に実施できるようにする。

3 各種部活動

- (1) 常設部 軟式野球（男女） ソフトボール（女子） J R C（男女）
 バレーボール（男子） ソフトテニス（女子）
- (2) 特設部 陸上・駅伝
 （常設部に準ずる。学校代表選手を選考・選抜（希望有）し、活動する。）
- (3) その他の特設部（体操、水泳、卓球）

設置条件は次のとおりとする。

- ① 生徒及び保護者の要望により、学校で協議し、校長が判断する。
- ② 特設部の保護者は、引率、指導等、引率教員に全面的に協力するよう依頼する。
- ③ スポーツ少年団やクラブチーム等で練習をして大会へ参加することを目指す。
- ④ 中体連大会も含め次の前提条件を満たしているときのみ大会へ出場できるものとする。

ア 引率教員(担当教員又は、その他の教員)が確保できるとき。

- a) 日程が常設部と重ならず、引率教員が確保できること。
- b) 休日の大会における引率教員は、家庭の事情等を考慮した上で、確保できること。
- ※ 教員とは、教諭、養護教諭、常勤講師を示す。

イ 複数の特設部の大会日程が重なる場合は、実績のある部員の部を優先する。

- a) 中体連大会、新人戦の実績をまず優先し、その他の大会を考慮する。
- b) 県大会上位の可能性のある部を優先する。
- c) 同等の場合は、当該部の全てを不参加とする。

(4) J R C 部への入部条件

J R C 部への入部条件は、以下の①、②のどちらかと、③の条件を満たす場合とする。

- ① 学校外で文化的（学習塾は含まない）、体育的な組織で活動している生徒であり、運動部活動の練習や大会への参加が困難な生徒
- ② 特別な事情や身体的理由により、JRC活動をする生徒
- ③ 休日にJRC活動を行うとともに、いわき市青少年ボランティアに登録し活動する生徒

4 実施方法

(1) 活動の原則について

各顧問は、毎年4月末日までに「各部年間指導計画」を作成し、教頭に提出する。その際、週休日分の振替日を明記する。また、毎月20日までに「各部月間活動計画」を、翌月5日までに「各部月間活動実績」を教頭に提出する。

(2) 活動時間について

平日の活動は、2時間を上限とする。活動時間は原則、放課後から次に示す最終終了時間以前とし、生徒は完全下校時間までに学校敷地外に出ることとする。学校行事等で早めに活動が始められる時は、2時間を上限とする。

4月～新入大会終了まで	18:10	<18:30完全下校>
新入大会終了～学年末テスト終了まで	17:40	<18:00完全下校>
学年末テスト終了～3月末まで	18:10	<18:30完全下校>

* 1年生の体験入部期間は17:00までの活動時間とする。また、体力的な面から活動内容に配慮する。

* 活動時間を延長する場合は、学校長の許可を受けて指導に当たる。

(3) 休日の活動について

週休日（土・日）のいずれかを休みにする。週休日・祝日・長期休業日の活動は、3時間を上限とする。土日に大会等が実施された場合は、週休日分の休養日を他の週休日または祝日に振り替えることとする。

(4) 部活動休止について

- ① 中間テスト3日前、期末（学年末）テスト5日前、学力テスト等は1日前から休みとする。ただしこの期間に大会等がある場合は、学校長の許可を受けて指導に当たることができる。
- ② 毎週水曜日は部活のない日とし、生徒・教師の心身の休息をとる。
- ③ 夏季休業中の学校閉庁日、年末年始（12月29日～翌年1月3日）

(5) 特設陸上・駅伝部の活動について

- ① 特設部結成後、清掃・短学活免除で活動時間を確保し、活動する。
- ② 保健体育科を中心に指導に当たる。

(6) その他

- ① 体育館を使用する部及び、校舎内を利用する場合については、顧問教師間で連絡調整して、活動場所を明確にし、円滑に活動を進める。
- ② 活動前に全て荷物を活動場所に持っていき、終了後、速やかに下校できるようにする。活動終了後、校舎内には戻らないようにする。